



Riishiri

博物館だより

リイシリ

令和4年 347号

8 / 15

オヨギユスリカ 観察会

日時

8月15日(月)

午後8時～8時30分

集合および開催場所

新湊漁港

内容

利尻島の海にはウニ類やマナマコ、リシリコンブなどの水産生物が生息していますが、それ以外にも多種多様な生物が生息しています。

この観察会では昨年度、利尻島沿岸で初めて発見されたオヨギユスリカという昆虫の採集と観察を体験します。オヨギユスリカは日没後に羽化することが知られ、成虫は海面をジャンプするように移動するといわれています。

発行：利尻町立博物館

住所 〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町136
電話 0163-85-1411
FAX 0163-85-1282
e-mail fishriowmuseun@ow.riishiri.hokkaido.jp

また、夜の海中にライトを照らすとプランクトンが浮遊している様子も楽しめます。

不思議な海の昆虫、オヨギユスリカや夜の海を楽しんでみませんか？

持ち物

- ・懐中電灯(ヘッドランプ等)
- ・ルーペ(若干数貸出できます)
- ・タオル ・マスク

申込み

先着5名。

締め切りは8月12日(金)。

その他

雨天・悪天時は中止です。



以前開催した夜の海の観察会の様子。夜の方が発見しやすい生物もいるため、昼とはまた違う楽しさがあります。

事業参加時の注意点

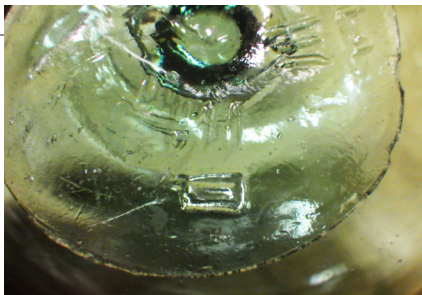
当館では感染症対策として、人数制限、貸出機器の使用前後の消毒のほか、屋内では換気などの対策を行い、安心してご参加いただけるように努めてまいります。参加者の皆様におかれましても、マスク着用、手指消毒等の感染症対策にご協力お願いいたします。また、体調不良の場合には無理に参加せず、担当者にご連絡をお願いいたします。

事業への申込み方法

参加者のお名前とご連絡先(携帯電話番号)、を博物館にメールか電話、ホームページ内のお問い合わせフォームからお伝えください。メールおよびフォームの場合は必ず返信いたします。返信がない場合には改めてお知らせ下さい。

博物館の道具箱 6
ガラスの浮き玉

当館では多数のガラスの浮き玉を所蔵しています。大きさも様々で、網がかけられたもの等もあります。漁のときにに縄や網を浮かせるために使われており、その用途に応じた大きさのものを選ぶそうです。ガラス玉には作成時に息を吹き込むための穴があり、それをふさぐために「へそ」がつけられます。へそには製造所特有の刻印が入っていることもあります。みなさんもご自宅の倉庫のほか、海岸に流れ着いた浮き玉を見つけた際には、じっくりと見てみてください。(富岡)



上：当館で展示中のガラスの浮き玉。様々な大きさのものがああります。展示されている物の他にも多数の浮き玉があります。利尻島内ではそれぞれどんな漁に使われていたのでしょうか。

下：浮き玉のへそ。よく見ると「川口」の刻印があります。この資料は礼文島の海岸で拾ったもの。

博物館事業報告

春の探鳥会

4月23日に杵形の森林公園、4月24日に博物館周辺で、毎年恒例の春の探鳥会が開催されました。

23日は朝から雨。天気が良くなることを期待して決行しましたが、みぞれまじりの雨が降るなど、ハードな探鳥会でした。そんな中でも参加者のみなさんは10種もの鳥を確認することができました。

24日は風があったものの、天候がよ、鳥探し日和となり、ゆっくりと鳥を探すことができました。中学校のグラウンドなど、一見、鳥がいないように見える場所でも、じっくり探すとヒバリやハクセキレイが隠れていたり、森林公園とはまた違った鳥種を確認することができました。

また、2日間とも、標識調査の見学も行いました。鳥の生態や分布などを調べるための調査で、両日ともに1羽ずつの鳥が捕獲され、間近で野鳥を観察することができました。



森林公園では鳥を探すだけでなく、池の森ではエゾアカガエルの卵なども観察しました。

第二回移動博物館

懐かしの学舎展

5月6日～12日に交流促進施設「どんと」にて、5月13日～5月19日に仙法志支所にて、昨年度に引き続き2回目の移動博物館を開催しました。今回は「懐かしの学舎展」と題し、閉校となった久連小中学校、新湊小学校、杵形中学校の資料を展示しました。展示した資料は閉校となった校舎に残されていたもので、当館で回収を行うとともに、清掃を行ったほか、リスト化や番号を付与し、登録する等の整理を行ってきました。これらの資料のうちアルバムやトロフィーをはじめとす



仙法志支所会場の様子。展示していた成績表がお知り合いの物だったとのことで盛り上がっていました。

る70点を展示するとともに、デジタル化した8ミリフィルムの映像を上映しました。

移動博物館では、学芸員が常駐し、ご来場いただいた方々のお話をお伺いしました。写真に写っている方のお名前など、資料に関連する情報や当時のエピソードなどもお伺いすることができました。さらに、楽譜や校章などの資料を会場にお持ちいただき、ご寄贈していただくこともありました。展示していた資料のほかにも、回収や整理を行った資料を多数保管しています。資料の閲覧などのご来館もお待ちしております。

秋の事業も盛りだくさん！



利尻を感じてウォーキング、池の生き物観察会といった野外での事業のほか、「これからの博物館」研修会も開催予定です。次号以降のおたよりでお知らせしますので、みなさまのご参加をお待ちしております。

傷病鳥保護

2022年6～7月は2個体の野鳥の保護と回収を行いました。

・ヒガラ、6月30日、仙法志小学校、関谷克志さん

・アカゲラ、7月10日、鬼脇、佐藤史人さん

リイシリ購読・閲覧

利尻町内の方には無料でお届けしています。町外の方は1部につき郵送料84円のご負担で定期購読が可能なほか、メール配信も行っております。定期購読については当館までお気軽にお問い合わせください。

なお、本誌は博物館のホームページでも閲覧可能です。最新号のほか、過去2年分のバックナンバーも公開中です。下のQRコードからアクセスしてください。



スマホでアクセスできます！

